Usefulness of Peroral Cholangioscopy in Primary Sclerosing Cholangitis

メタデータ	言語: English
	出版者:
	公開日: 2025-06-20
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 福間, 泰斗
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003867

授与機関名　順天堂大学

学位記番号　甲第 2930 号

Usefulness of Peroral Cholangioscopy in Primary Sclerosing Cholangitis

原発性硬化性胆管炎における経口胆道鏡の有用性

福間 泰斗（ふくま たいと）

博士（医学）

論文審査結果の要旨
本研究は原発性硬化性胆管炎（Primary Sclerosing Cholangitis: PSC）における経口胆道鏡の有用性を検討した論文である。我々は以前報告した PSC の胆道鏡所見が Active(炎症)、Chronic(瘢痕)、Tumorous(腫瘤様)の 3 Type に分類できることを基にして、PSC の胆道鏡所見を詳細に解析した。また、他疾患との比較によりその特徴や経時的変化について検討した。
【新規性、創造性】PSC では特徴的な胆管像を呈することが知られているが、胆道鏡所見については殆ど報告がない。本研究で施行した胆管像との対比により、特徴的な胆管像を形成しているのは瘢痕であることが判明した。また、炎症、瘢痕の所見が混在し、瘢痕は徐々に進行していくこと、炎症が強い時期には瘢痕がかえって認められなくなることも分かった。また、瘢痕と偽憩室を認めることが他疾患との鑑別に有用と考えられた。これらの知見はこれまで報告がなく、PSC の胆道鏡所見を詳細に分析した初めての論文である。
【方法・研究倫理】2018 年 2 月から 2023 年 2 月の間に順天堂医院で経験した PSC22 例の胆道鏡所見を解析した後方視的研究である。また、他疾患との鑑別のために肝内結石 19 例、胆管癌 25 例、IgG4 関連胆管炎 3 例を比較対象とした。胆管像と胆道鏡所見の対比、経時的な所見の変化、他疾患との比較を行った。本研究は倫理委員会の承認を得ている。
【学術的意義】PSC は希少疾患であり、その病因、自然史は不明である。これまで特徴的な胆管像を基に診断基準が作成されているにも関わらず、胆管内で起きている事象やその所見、それらの経時的な変化や胆管像への寄与なども全く分かっていなかった。そのため、本研究は今後の PSC 研究の基盤となると考えられる。
【考察・今後の発展】多施設症例集積研究により、本研究の Validation を計画している。その中で、今後作成予定である診断基準を用いて他疾患との鑑別診断を行うことを検討している。将来的には進行度分類、新規治療の効果判定、予後予測の一助となることを期待している。 よって、本論文は博士（医学）の学位を授与するに値するものと判定した。